



バイナリーオプション 基礎知識

～トレード前、最初に知るべき事柄～

基礎的な知識を身に付けることで

より**スムーズ**な**トレード**が可能になる！



【著作権について】

- このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
- 著作権は ライフ出版 株式会社 に帰属します。
- このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- 使用者は本冊子から得た情報を、著者の事前の許可なく一般に公開する事を禁止します。
- このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等であり、著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- このレポートを利用することにより生じた、いかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

目次

◆はじめに	3
◆バイナリーオプションとは？	4
◆バイナリーオプションの仕組み	7
・ペイアウトとは？	7
・ペイアウト率	8
・ペイアウト率は常に変化する	9
◆バイナリーオプション基本用語集	11
◆バイナリーオプションのメリット	15
◆バイナリーオプションのデメリット	17
◆バイナリーオプションはギャンブル？	18
◆バイナリーオプションとFXとの違い	20
◆ハイロー(HighLow)	24
◆ハイロー(HighLow)のトレードルール	26
1-1: ハイロー(HighLow)、4つのタイプ	26
1-2: 4つのタイプ、共通ルール	27
2-1: タイプ① Turboの場合	28
2-2: タイプ② High Lowの場合	30
2-3: タイプ③ Turboスプレッドの場合	32
2-4: タイプ④ High Low スプレッドの場合	35
◆約定拒否	36
◆ハイロー禁止行為と口座凍結について	45
禁止行為	48
口座凍結とは	49
凍結するであろう行為	51
稼ぎ過ぎると凍結される？	54
◆バイナリーオプションのリスク	55
◆さいごに	58

◆はじめに

バイナリーオプションは非常に再現性の高い投資であり、本CLUBのノウハウをきちんと知り実践すれば、月収100万円の利益を目指すことが可能になります。

しかし、バイナリーオプションで利益を出し続けられる人は一般的に全体の約1割くらいだと言われており、残りの9割の人は利益を出せずに損失を被ってしまっています。

どんな世界でも結果を出して行く人は少数派ですが、その大きな違いは何なのでしょう。それは、

損失しか出ない人：ギャンブル感覚でトレードをしている。

利益を出している人：的確なノウハウを知り、きちんと実践している。

この違いです。

勝つための的確なノウハウを掴み、きちんと正しく実践していくことで最速最短で成功者になることができます。

ノウハウをより早く吸収し実践していくためにも、まずは基礎的な知識があるに越したことはありません。

あなたがより安心してバイナリーオプションで資産を増やしていくために、トレード実践の前に、まずは基礎知識を習得してください。

◆バイナリーオプションとは？

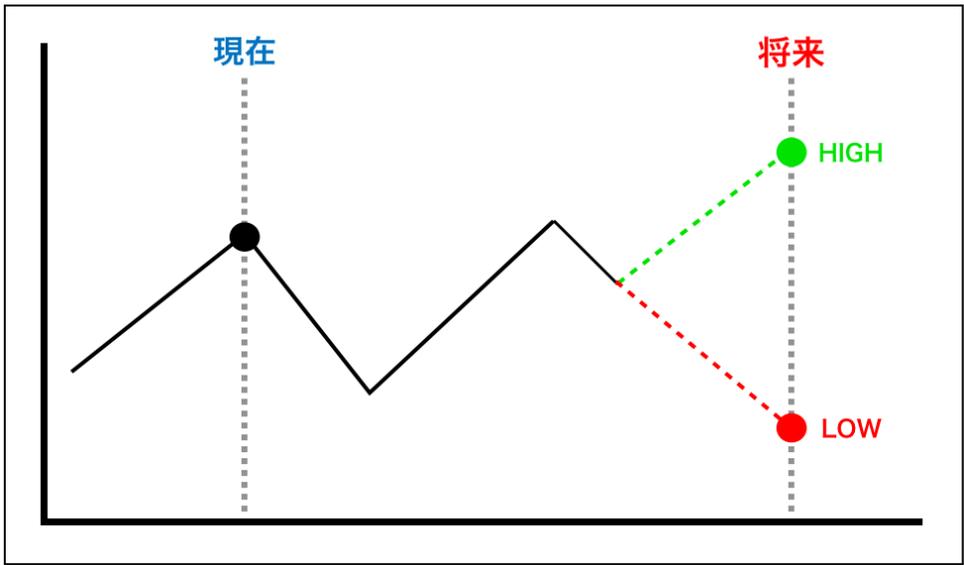


バイナリーオプションとは、1ドル=何円といった為替の動きを基準にして、将来の価格が『上昇するか=HIGH』『下落するか=LOW』を予測して利益を得るトレードです。



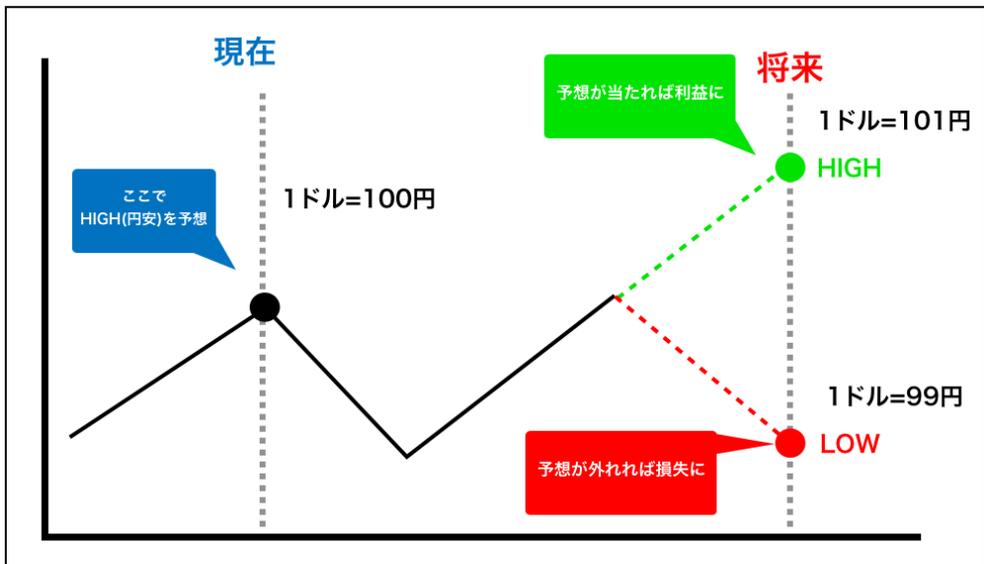
バイナリー(binary)とは、『二進法』という意味を表し、オプション(option)とは、デリバティブ(金融派生商品)におけるオプション取引を表しています。

例えば、現在のドル円レートが「1ドル=100円」だとして、2時間後に相場が100円よりも『上がる=HIGH』とあなたが予想したとしましょう。



予想通り、2時間後に1ドル=100円を超えていれば利益を得られますが、外れた場合はかけていたお金が無くなります。

反対に、現在のドル円レートが1ドル=100円だとして、2時間後に相場が100円よりも『下がる=LOW』とあなたが予想した場合、



予想通り1ドル=100円を下回っていれば利益を得られますが、外れた場合はかけていたお金が無くなります。

このように、バイナリーオプションのトレードは、株やFXなどと違って複雑な売買を行う必要がなく、将来、『上がる=HIGH』か『下がる=LOW』かの2択を選ぶのみです。

トレードの仕組みがシンプルでわかりやすく、投資の初心者でも参入のハードルが比較的低いことが特徴です。

さらに、元手が1万円といった少額からスタートすることもできるので、投資を始めるためのハードルが低いこともメリットとして考えられますね。

◆バイナリーオプションの仕組み

バイナリーオプションは一体どのような仕組みで、また、運営業者によってどのようなルールが定められているのでしょうか？

バイナリーオプションを提供する業者は、トレーダーのかけたお金を自分の利益にして運営を続けています。なので、トレーダーの損失は運営業者の利益となるのです。

しかし、トレーダーが勝った際も、勝った金額の内の一定額を、運営元である業者は利益として徴収します。それが、トレーダーへと支払われる『ペイアウト』に対する『ペイアウト率』という考え方です。では、このペイアウトとは一体何なのか？そこから見ていきましょう。

・ペイアウトとは？

バイナリーオプションのトレードにおける『ペイアウト』とは、トレーダーが為替相場の予想を当てたときに、「運営業者」から⇒「トレーダー」へと支払われるお金のことです。

このペイアウトは、為替相場のレートに関わらず一定に保たれており、トレーダーは『HIGH』か『LOW』かの予想を当てることで、一定額のペイアウトを受け取ることができます。

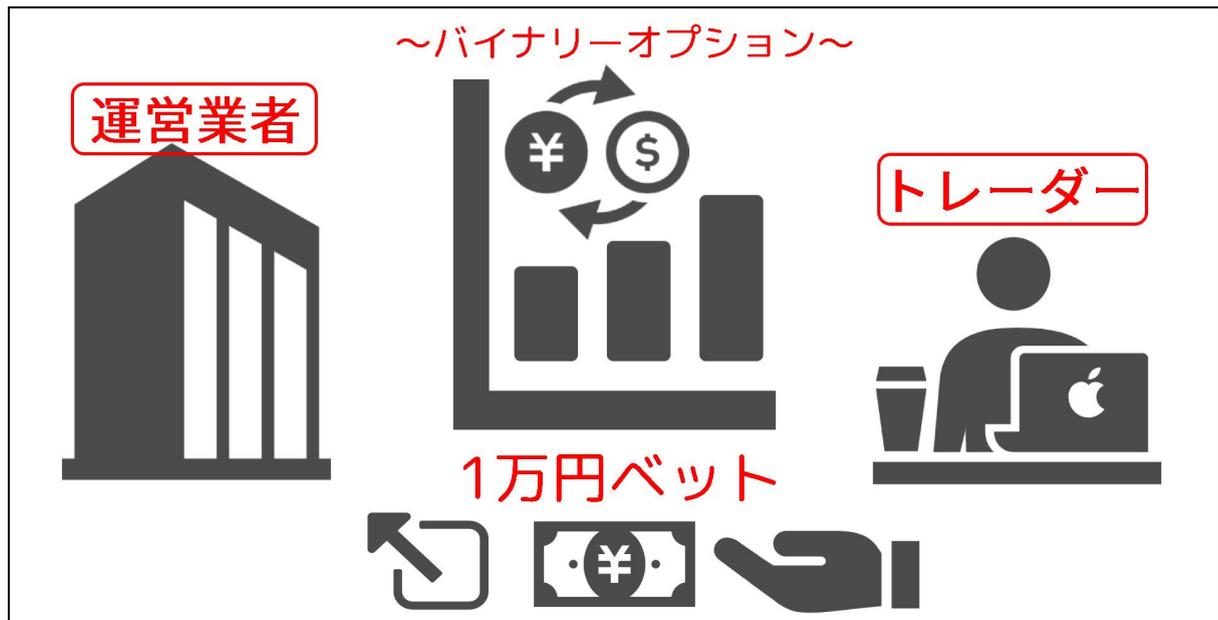
例えばペイアウト率が2倍の場合、あなたが「1万円」を投じて予想を当てた場合は元金と利益を足して「合計2万円」を獲得できます。しかし、「1万円の取引金額」に対して、必ずしも勝った際の利益が「同額」になるとは限りません。なぜなら上述したように、トレーダーの利益の一部から、毎回一定額の「手数料」が差し引かれる場合があるからです。

その利益に対する手数料がいくらなのかを求めるときの指標が『ペイアウト率』と呼ばれるものです。

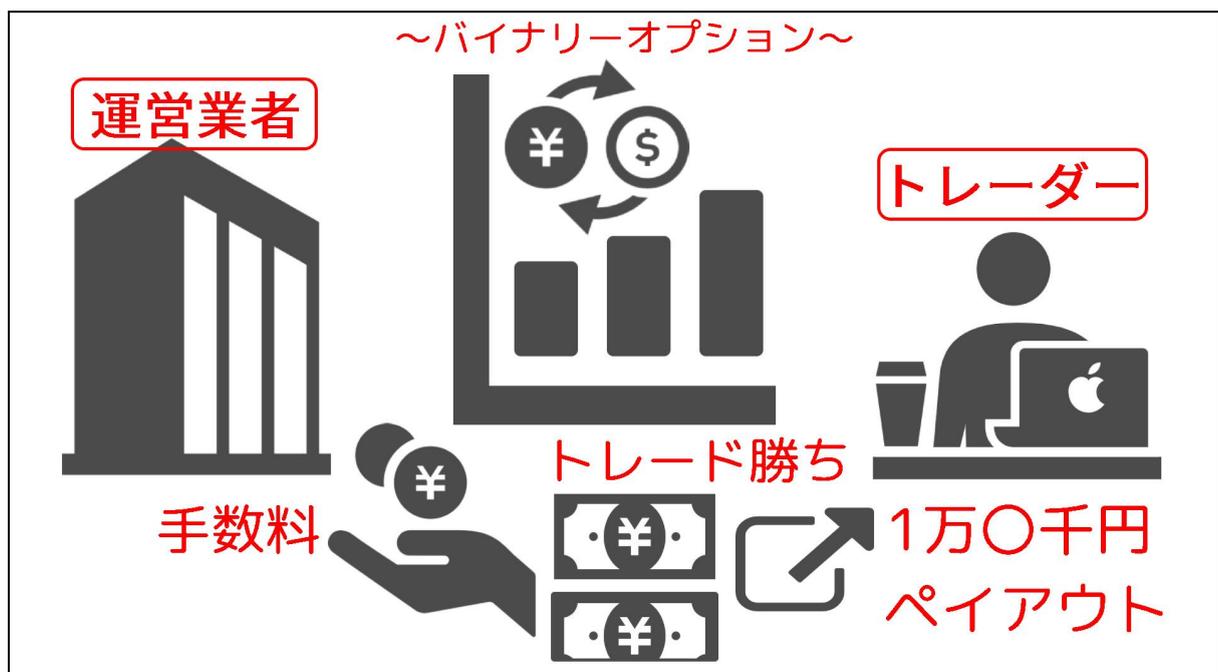
・ペイアウト率

ペイアウト率とは投資家が予想を当てて受け取れる利益における、払戻金額の割合のことを言い、『払い戻し率』とも呼ばれています。

【ペイアウトと手数料(ペイアウト率)概念】



1万円でベット⇒ 勝ち／(1万円+1万円)【計2万円】
⇒ 計2万円－手数料(運営業者) ⇒ 1万〇千円(トレーダー)



(ペイアウト率による差額分がトレーダーの利益)

ペイアウト率ですが、トレードするタイプや時間によって異なります。また、運営業者によっても異なります。

(詳細は別項目でお伝えします)

本CLUBで行う、バイナリーオプション大手業者である

HighLow『ハイロー』は、

そのペイアウト率が他業者に比べかなり良いことも人気の1つです。

このように、バイナリーオプションでは、このペイアウト率が実質的なトレードのコスト、利益になるので、常にペイアウト率がどのくらいなのか注視しておく必要があります。

・ペイアウト率は常に変化する

上述したペイアウト率は、

各運営業者によって必ずしも固定されているわけではありません。

相場の変動や、業者の経営状況によって倍率が変化します。

業者の経営状況によって倍率が下がる可能性もあるバイナリーオプションの運営業者は、投資家の損失分や、トレーダーのペイアウト分の一部を利益として運営しています。

従って、ペイアウト率があまりにも高すぎると、運営業者が赤字となり破綻してしまう可能性だってあるのです。運営業者がバイナリーオプションのトレード・サービスを提供しなければ、私達も投資して利益を得ることはできません。

なので、取引している業者の経営状況によって、ペイアウト率が変動する可能性があることも頭に入れておかなければなりません。

安全や信用といった側面も、どこの運営業者を選ぶかという目安の1つにもなります。

その点からも、ハイロー(HighLow)は人気のある運営業者として、多くのトレーダーから選ばれている理由の1つです。

◆バイナリーオプション基本用語集

ペイアウト、ペイアウト率といった基本用語がすでに出てきていますが、その他にもバイナリーオプションの基本用語がありますので、ここで少し紹介しておきますね。

【エントリー】

トレードの金額を決めて、最終的に購入することを、エントリーと言います。このエントリーしたときに、「HIGH」か「LOW」どちらかを最終決定したということです。

エントリーポイント、エントリータイミング、といった使い方もされることもあり、こちらは適切なエントリーの瞬間の意味として使われています。本CLUBでも、理論上として適切な瞬間のことを、そのように表現することがあると思います。

【ベット／BET】

BET金額またはベット金額などと使われることがありますが、これは取引金額のことで、「HIGH」か「LOW」のどちらかに投資、つまり、実際にお金をかけることを指しています。

バイナリーオプションの運業者の口座に、元資金を入金し、その中から、自分の好きなベット金額(取引金額)を決めて、エントリーする、ということになります。

【スプレッド】

この言葉は、金融では「価格差」や「金利差」をあらわす意味で使われています。

しかし、本CLUBで使用する運業者「ハイロー(HighLow)」などでは、元々の英語の意味「広げる」の方が近いでしょう。

言葉よりも画像がよりわかりやすいので下の図をご覧ください。

短期取引、普通のTurbo、1分でのトレード／ペイアウト率：【1.95倍】



短期取引、スプレッドのあるTurbo、1分／ペイアウト率：【2.20倍】



上記の図で確認できるように「スプレッド」と名前の付くトレード・タイプの場合は「HIGH」と「LOW」の間に「幅」があります。

これは、トレードをした場合、バイナリーオプションは、2択で「上がった」か「下がった」かを当てるわけなので、微妙に、上がってもなく下がってもなかった状態、ドロウ、つまり引き分けの状態も出てきます。

スプレッドは、このドロウの場所での「幅」の一定の広さとなり、その範囲内でトレードをして終了すると、「トレーダー側の負け」＝「損失」となります。

これはドロウ（引き分け）の範囲が、トレーダー側にやや不利になる条件ではありますが、その反面「ペイアウト率が高い」です。

上記2つのサンプル画像を比較してみてもわかるように、通常の「Turbo」は「1.95倍」
スプレッドの「Turbo」は「2.20倍」です。

このスプレッドは、海外の運業者ではよく使われています。どちらを選ぶかは、もちろん個人の好みにはなりますが、本CLUBでは、スプレッドでのトレードは一切しません。

その理由は、企業の送金の戻りを利用した手法を元に、様々なトレードパターンを試した結果、最も利益が出るのがスプレッドを使わない「Turbo」でのトレードだったからです。

【ハイロー】

これは「HIGH」「LOW」をカタカナで表記しているだけです。

【口座凍結】

本CLUBで行うハイロー(HighLow)の運業者にはトレードの利用を制限したり、出金自体が全く行えなくなる口座凍結という処分があります。

運業者が禁止行為と定める行為をトレーダーが行なった場合、

その対処として、利用制限処分やサービス利用停止の事です。

凍結には、1ポジションの上限金額が5千円になってしまうなどの制限を受ける「限定凍結」から、お金の入出金の手続きすらできなくなる「完全凍結」まであります。

バイナリーオプションをする限りにおいては、ルールを守って、正しくトレードをする必要があります。

こちらに関しては基本ルールの項目で、詳しく触れていきます。決して難しいことはありませんので、正しくルールを知って、健全にトレードを行いましょ。

◆バイナリーオプションのメリット

続いて、バイナリーオプションのメリットを紹介していきます。

・少額からでも投資ができる

バイナリーオプションは、
一回のトレードを1,000円から行うことが可能です。

各業者によってその最小取引金額は異なりますが、株式や不動産投資のように一度の取引に数十万円～数百万円は必要はありません。

・ルールがシンプルでわかりやすい

バイナリーオプションは、株式投資やFXなどと比較して、
『そのルールはとてもシンプルで分かりやすい』です。

トレード方法は『HIGH』か『LOW』の2択のみ

バイナリーオプションでは、トレードの方法が2択しかありません。
なので、株式やFXのように『どこで利益を確定させるか』や『どこで損切りするか』といった戦略を考える必要がないのが特徴です。

自動決済

バイナリーオプションでは、『HIGH』か『LOW』の2択でトレードをした後は自動で決済が行われます。

これが株式やFXなどの投資方法であれば、決済をする為に自分自身で『買い』や『売り』の注文を通さなければなりません。

このように、他の投資方法と比較しても、バイナリーオプションは非常にシンプルで理解のしやすいトレード・ルールだと言えるのです。

・値動きが小さくても利益を出せる

バイナリーオプションは、「HIGH」か「LOW」かの自分の予想が当たれば、為替の値動きの幅に関係なく、同額の利益を手にすることができます。

例えば、1ドルが100円だった相場が101円になろうと、110円になろうと、予想が当たれば得られる利益は同じです。

なので、相場がもみ合いになって値幅が小さいタイミングであっても、一度のトレードで大きな利益を獲得できる機会があるのです。

・損失が限定されている

バイナリーオプションは利益だけでなく、損失も一定でその範囲は自分が投じた額に限定されます。

例えば、あなたが1万円を投資してエントリーしたとしましょう。この時点で、あなたの最大損失額は1万円に決まります。

仮に、エントリーした後に1ドル100円だった相場が99円になろうと、90円になろうと、あなたの損失額は一定です。

このように、バイナリーオプションにおける一回のトレードでの損失額は、あなたが投資した金額で一定となります。

◆バイナリーオプションのデメリット

次に、バイナリーオプションのデメリットについて紹介していきます。

負けた時は投資したお金の全額が損失となる

バイナリーオプションでは、
一回のトレードにおける損失が限定的であると上述しました。

しかし見方を変えれば、
どれだけ値動きが小さくても自分の予想が外れれば、
自分が投資した金額が確実に全額損失すると捉えることもできます。

なので、もしも自分が予想を外してしまえば、
投資したお金が全額損失となる点に注意しておきましょう。

◆バイナリーオプションはギャンブル？

バイナリーオプションは、将来の為替の価格が「上がるか(HIGH)」「下がるか(LOW)」を予想するトレードであるため、これは投資ではなく、ルーレットにある「赤か黒」や、サイコロを使った「丁か半」を当てるなどのギャンブルと同じだと指摘されることも少なくありません。

なので、世間ではバイナリーオプションが『イチかバチかのギャンブル』だと認識されてしまわれがちですが、決してそんなことはありません。

投資とギャンブルの違いとは

バイナリーオプションは、本当にギャンブルなのでしょうか？

例えば、競馬、競輪、麻雀などは一般的に『ギャンブル』と呼ばれていますが、株やFXは一般的に『投資』と呼ばれています。

しかし、株やFXだって、ただ当てずっぽうにお金を入れているだけなら、それも投資だとは言えません。どちらかという、それらもただのギャンブルに当てはまるでしょう。

では、何がギャンブルで、何が投資なのでしょうか？

何よりも必要なモノは、確固たる「ノウハウ」です。根拠を持って、しっかりとプランが組まれ、さらに資金管理が行われているものは『投資』だと言えるでしょう。

別ページでも触れましたが、そこには必ず「ノウハウ」が存在するのです。

理論もなく、運任せで何のプランも持たずにやっているものは、株やFXであろうと全てギャンブルになってしまうんです。

中には、競馬などでも、しっかりと利益を出せるプランやその根拠さえあれば、ギャンブルではなく投資になり得る、、、と主張する方もいるかもしれませんね。

しかし「馬の予想屋」なる人たちの理論は、あくまで経験値と勘を頼りにしているものに過ぎません。

数値に基づいた数学的な根拠、集積されたデータから導き出される確率論、心理分析による学説的理論、これらをもとにした「ノウハウ」とはまるで別物です。

バイナリーオプションは、利益を出すための理論と明確なプラン、さらに資金運用と管理があるならば、それは『投資』と言えます。

必ず「ノウハウ」を持ってトレードをしてくださいね。

◆バイナリーオプションとFXとの違い

「バイナリーオプションとFXってどう違うのですか？」
という質問をよく聞きます。

「FX」に関しては、最近ではテレビやネットなどでよく宣伝を目にするとおもいますので、認知度はかなりあると思います。

ですが、具体的に何をすることになると、それほど知られているわけではありません。そしてそのFXと似ている投資がバイナリーオプションになるのですが、さらにその違いとなると、ほぼ知られていません。

バイナリーオプションとFXは共に、外国為替の値動きを予想して取引する点は共通していますが、大きく以下の3点が異なっています。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. トレード方法の違い2. トレードのコストの違い3. レバレッジの有無の違い |
|--|

1. トレード方法の違い

FXの場合、自分が取引する外国為替を、どこで買ってどこで売るかを自由に決められますが、バイナリーオプションは『HIGH』か『LOW』かの2択です。

例えば、FXで
「1ドル100円」の時に100万円分の『買い』のエントリーをして、
「1ドル101円」まで値上がりした時点で売却すれば、
100万円の元手で「1万円」の利益を手に入れることができ、

これがもし、
「1ドルが102」円まで値上がりすれば「2万円」の利益となります。
(※手数料は考慮していません)

では、バイナリーオプションの場合だとどうでしょう。

1ドル100円の時点で2時間後のドル円相場が
『上昇する(HIGH)』と予想し、
1万円でエントリーしたとして、見事予想が的中すれば、
1万円の元手で「1万円」を手に入れることができます。

仮に2万円でエントリーして予想を当てれば、
「2万円」の利益を手に入れられます。(※手数料は考慮していません)

このようにFXは自分の売り買いのタイミングによって損益とその値段が決まりますが、バイナリーオプションはHIGHかLOWかのどちらか
2択で生み出される損益も予め決まっています。

2. トレードのコストの違い

次にコストの違いについてみていきます。

FXにかかるトレードのコスト

FXの場合は、主に『スプレッド』と呼ばれるトレードのコストがかかります。ここでのスプレッドの意味は通貨の『売値と買値の差額』のことを言い表しており、この差額がFX業者に支払う手数料となります。

例えば、買値が1ドル101円、売値が1ドル100円70銭の場合、そのスプレッドコストは0.3円(30銭)となるので、ドルを買った瞬間に売ると0.3円分がトレードのコストとして無くなります。

スプレッドが業界最安値水準を誇る国内のFX業者であれば、スプレッドは『米ドル/円』で0.3銭といったところでしょう。

スプレッドが0.3銭(0.003円)の場合、1ドル100円を1万円分取引したとすれば、トレードのコストは30円となります。

FXでは基本的にこのスプレッド手数料がトレードコストの軸となるので、スプレッドが小さければ小さいほど利益が出やすくなるのです。

バイナリーオプションにかかるトレードのコスト

バイナリーオプションの場合は、
上述した『ペイアウト倍率』によってトレードのコストが変わります。

例えば、ペイアウト率が「1.9倍」であれば利益の内の「10%」が
運営業者の手数料として取られます。

各業者によるペイアウト率の比較は、この後で、もう少し詳しくお伝えいたします。

3. レバレッジの有無の違い

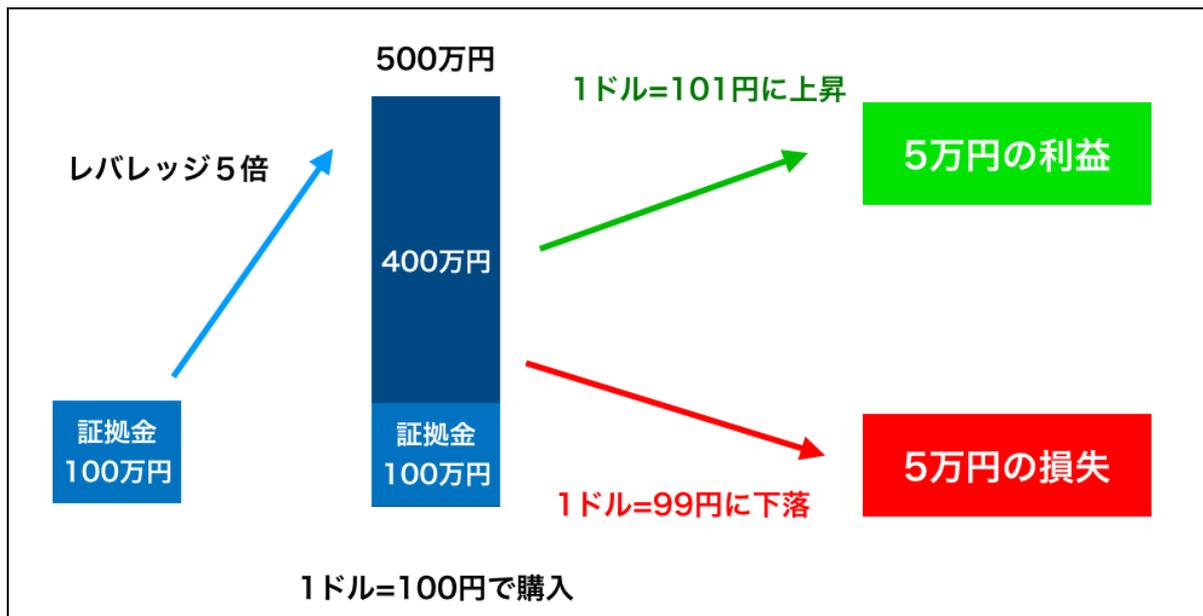
FXでは『レバレッジ』をかけたトレードが可能です。バイナリーオプションではできません。

『レバレッジ』とは、日本語にすると「てこの力」や「借入資本利用」と訳されます。

FXにおいては、自分が預け入れた資金を証拠金として、
倍～数十倍の金額をかけてトレードができる仕組みのことです。

例えば、100万円の資金を元手に5倍のレバレッジをかければ、
あなたは元手100万円で合計500万円のトレードが可能となります。

【FXによるレバレッジでのトレード概念】



このような仕組みがFXでは利用可能であり、国内のFX業者であれば、最大で25倍のレバレッジをかけたトレードが可能です。

(※2022年10月時点／金融庁のレバレッジ規制により、国内FXの最大レバレッジは25倍と定められています)

自己資金を引き上げ資金効率の高さで高い利益を求めるわけですが、もちろん、トレードの予想が外れれば比例して損失も高くなります。ハイリスクハイリターンというわけですね。

しかし、バイナリーオプションでは、このレバレッジでのトレードはできません。また運営業者によっては一度のエントリー金額の上限が「20万円」までと決まっているところもあります。

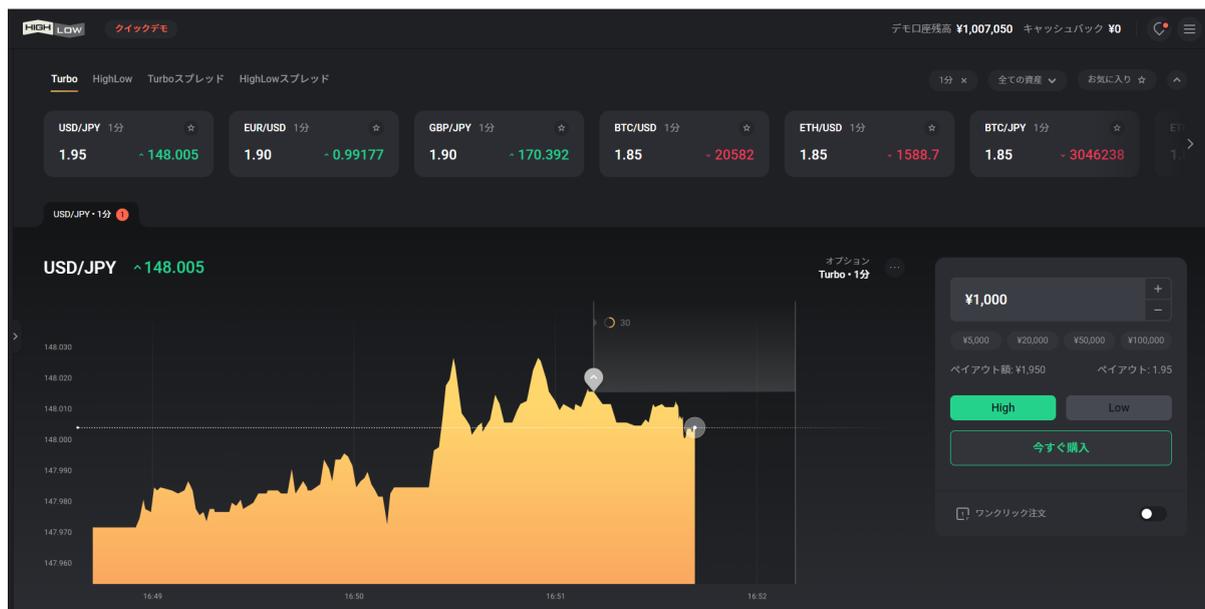
自分の保有する資金以上の金額でトレードができるかできないか、ここは両者に大きな違いがあると言えます。

私個人の意見としては、バイナリーオプションで堅実にそして安全に利益確保することを目標にしているので、レバレッジはお金を借りて投資ゲームを楽しんでいるように見えるので、好きではありません。

◆ハイロー(HighLow)

バイナリーオプションの運営業者は、
HighLow『ハイロー』が人気があります。
こちらが本CLUBで実際のトレードに使用する業者となります。

【HighLow】



ハイロー(HighLow)は、元はオーストラリアに拠点を置く
HighLow Markets Pty. Ltd.によって運営されていた取引サービス
でしたが、その運営を「HLMI LLC」に引き継ぎ、今に至っています。

ホームページ上に、
「HLMI LLCはセントビンセント及びグレナディーン諸島の有限責任会社法に
基づいて登録されています」と明確に記載されており、また、
《会社番号489》ときちんと確認できる優良な運営業者です。

HighLow『ハイロー』公式サイト

⇒ https://highlow.com/landing-page?a_aid=6358e9faada73

人気の理由は、

- ・信用と安心が担保されている。
- ・他の業者と比べて「ペイアウト率(払い戻し率)」が高い。

などがあります

日本からも多くの方が利用していることで定評があり、業界No.1レベルを誇る業者だと言えるでしょう。

もちろん、バイナリーオプションができる運營業者は国内外、色々ありますが、信用・安心度、またペイアウト率の高さなどから、ハイロー(HighLow) は人気があります。

ここで少し、ペイアウト率を他社と比較してみましょう。トレードのスタイルによってもペイアウト率は違うのですが、今回は、本CLUBで行う「Turbo」＝短期取引のみのペイアウト率を記載しております。またペイアウト率は、タイミングやキャンペーン、また運営側が変更する場合がありますので、変動いたします。あくまで参考レベルとして確認してください。

【ペイアウト率比較／Turbo＝短期取引】	
ハイロー(HighLow)	1.85倍～1.95倍
ザ・バイナリー	1.84倍～1.86倍
theoption	1.81倍～1.83倍
ソニックオプション	1.75倍～1.80倍
トレード200	1.74倍
ジェットオプション	1.60倍～1.84倍

ペイアウト率は変動制なので、簡単には比較できない部分もあるのですが、それでも高いことで有名な業者ではあります。

また海外の運營業者でありながらも、日本語サービスがあり、対応も「電話」と「メール」という、迅速に連絡がとれるようになっています。

ハイロー(HighLow)について、トレードルールや禁止事項などを詳しく見てみましょう。

◆ハイロー(HighLow)のトレードルール

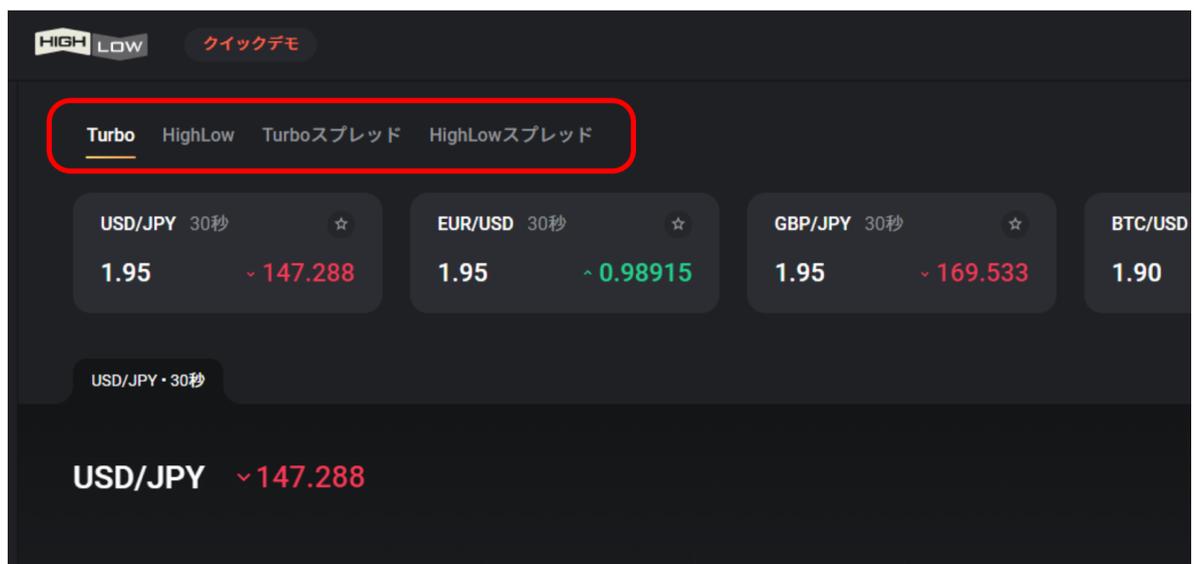


日本のバイナリーオプション
業界をリードするハイロー

- ✓ 口座開設+取引で¥5,000のボーナスを獲得
- ✓ ペイアウト倍率最大2.3倍
- ✓ 日本人オペレーターによる、万全なサポート

口座開設をする クイックデモ

1-1: ハイロー(HighLow)、4つのタイプ



HIGH LOW クイックデモ

Turbo HighLow Turboスプレッド HighLowスプレッド

USD/JPY 30秒 ☆	EUR/USD 30秒 ☆	GBP/JPY 30秒 ☆	BTC/USD
1.95 ~ 147.288	1.95 ~ 0.98915	1.95 ~ 169.533	1.90

USD/JPY · 30秒

USD/JPY ~ 147.288

トレードのタイプは以下の4つです。

- 1 Turbo
- 2 High Low
- 3 Turboスプレッド
- 4 High Low スプレッド

1-2: 4つのタイプ、共通ルール



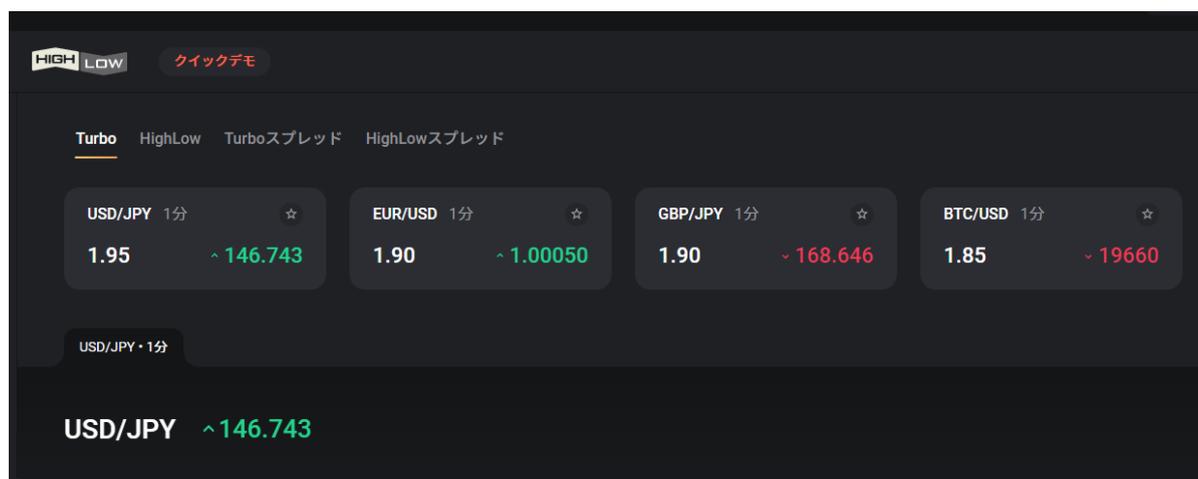
4つのタイプに共通するルールから解説します。

- ▶ エントリーした時のレートよりも、ゴール時の価格が上がっているか 下がっているかを予想する投資であること
- ▶ ゴールとなる時間と、ペイアウト率、スプレッド幅(値幅)は取引方法により異なること
- ▶ エントリー金額は1,000円~200,000円の範囲内であること
- ▶ 予想が的中すれば、ペイアウト率に従い払い戻しされ、予想が外れれば掛け金は全額没収されること
- ▶ エントリー時と同じレートでゴールすると引き分けではなく「負け」
- ▶ 自動売買ツール(EA)の利用は禁止
- ▶ 転売機能は全ての取引方法で利用可能、利用は判定時刻の1分前まで

これらはどのタイプを選んでも同じルールとして適用されます。
基本ルールなのでしっかりと確認しておきましょう。

それでは、ハイロー(HighLow)のトレードルールについて、
4つのタイプ、それぞれ詳しく解説していきます。

2-1: タイプ① Turboの場合



こちらの「**Turbo**／1分」が、
本**CLUB**で行うトレードのタイプとなります。

短時間でのトレードで、
「開始時刻」と「判定時刻」が決められていない方法となります。
判定時刻は、自分で決めることができます。

トレード時間は4つに分けられています。

・30秒	エントリーをいれた 30秒 後に判定 ペイアウト率【 1.95倍 】
・1分	エントリーを入れた 1分 後に判定 ペイアウト率【 1.95倍 】
・3分	エントリーを入れた 3分 後に判定 ペイアウト率【 1.90倍 】
・5分	エントリーを入れた 5分 後に判定 ペイアウト率【 1.85倍 】

表からも見て取れるように、トレード時間が短いほどペイアウト率が
高くなっています。

判定時刻が最短で30秒、最長でも5分となっており、短時間で勝負が決まりペイアウト率が高いため初心者を取り組みやすいトレードルールと言えます。

簡単でリスクが低いわりに、決してペイアウト率が低いわけではありません。

ここが、海外の運営業者にもかかわらず日本人トレーダーの間で高い人気を維持している理由の1つと言えるでしょう。

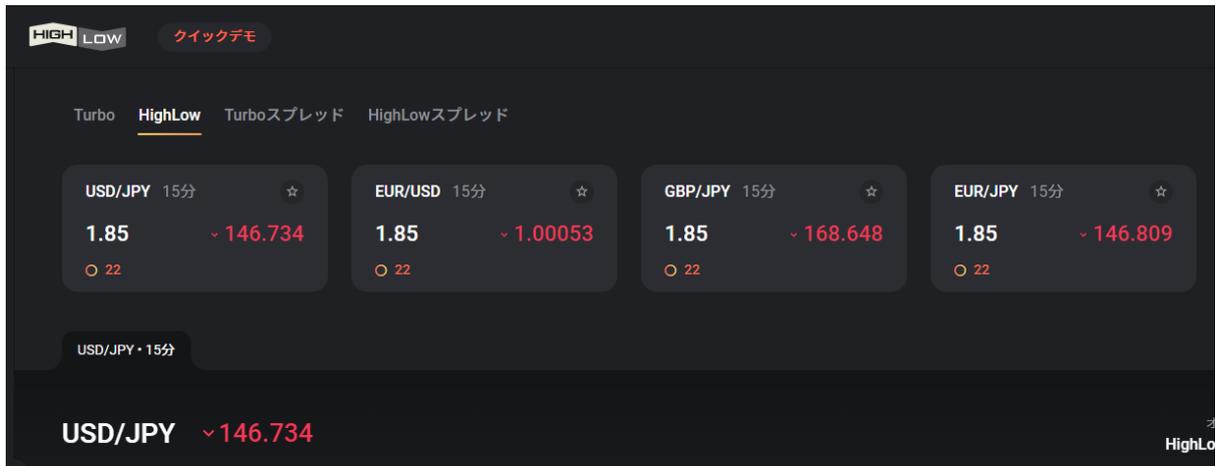
本CLUBで行うトレードも、**「Turbo」×「1分間」**を選びます。

もちろん理由もあります。

スプレッドと違い理論が組み立てやすいです。
一定したトレードを落ち着いてできます。
「1分」を選ぶことによりエントリーポイントへの幅が広がります。
ペイアウト率も「1.95倍」と、高い方です。

などの理由があげられます。

2-2: タイプ② High Lowの場合

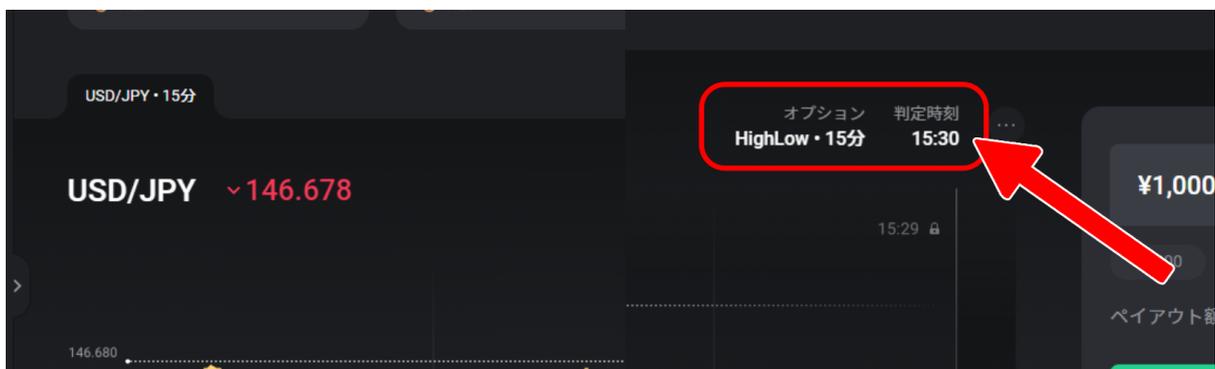


ハイローは、あらかじめ定められた判定時刻で、取引を申し込んだ地点よりも金額が高いか低いかを当てる、ハイロー(HighLow)の最も代表的なタイプです。

このタイプには、「3つのトレード時間」があります。予想の見通しが立ちづらいトレードほど、ペイアウト率が上昇します。

・15分	1時間に4回／ ペイアウト率【1.85倍】
・1時間	1時間に1回／ ペイアウト率【1.90倍】
・1日(23時間)	1日に1回／ ペイアウト率【1.95倍】

この取引方法で注意したいのが、判定時刻が決まっていることです。15分取引や1時間取引であっても、判定時刻は自分がエントリーした15分後や1時間後ではないのです。



上記の画像にあるように、これは15分トレードの場合ですが、
自分が
判定時刻は:「**15:30**」です。

つまり「15:15 ~ 15:30」の間の15分の間、

「15:01」にエントリーしても、
「15:20」にエントリーしても、
最終判定の時刻は ⇨ 「15:30」です。

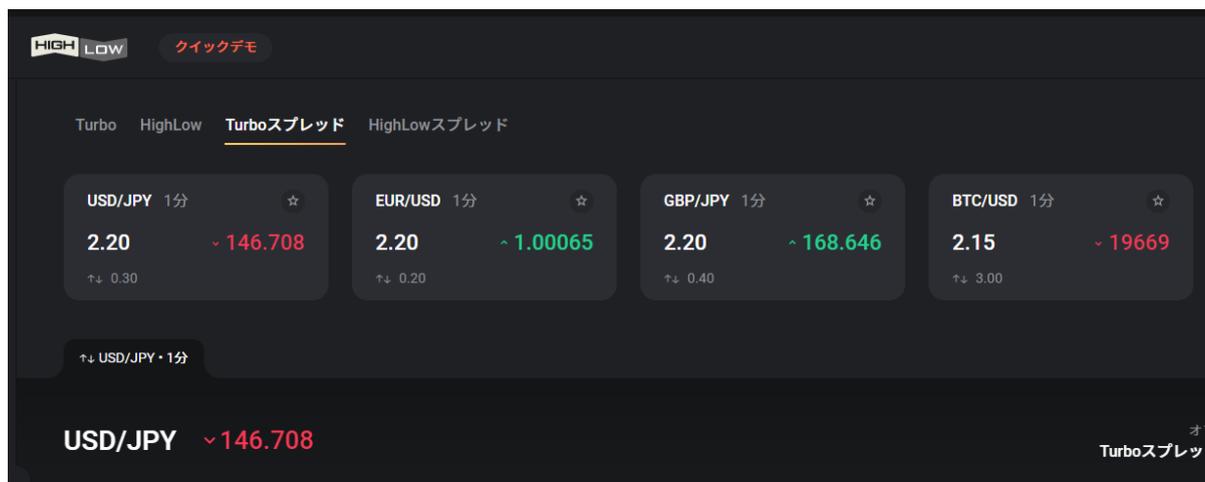
ただし、15分トレードの場合、
最終エントリーは1分前の「15:29」までとなります。
直前の10秒前にエントリーしようとしてもダメです。



(1日トレードの場合は15分前となります)

使い方次第では稼げる可能性がありますが、
初心者には不向きなトレード方法とも言えます。

2-3: タイプ③ Turboスプレッドの場合



①番のトレード「Turbo」に、スプレッドが追加された方法です。
ハイロー(HighLow)で最も高いペイアウト率のトレードでもあります。

・30秒	ペイアウト率【2.30倍】
・1分	ペイアウト率【2.20倍】
・3分	ペイアウト率【2.05倍】
・5分	ペイアウト率【2.00倍】

「スプレッド」というルールが追加されたトレード方法で、
トレーダー側がやや「不利な」条件下のもとで取引を行うかわりに、
ペイアウト率が2倍以上と高く設定されています。

その不利な条件というのが、スプレッド＝幅になります。

「バイナリーオプション基礎知識」でも触れましたが、
ここでも、再度記載しておきます。

スプレッドと言うのは「買値」と「売値」の差額のことです。
つまり、トレーダー側の負け判定の幅が少し広がる代わりに、
ペイアウト率が上昇するトレードとなります。

こちらにもスプレッドの概念となる、画像をのせます。

【通常タイプのトレード】



【スプレッドがあるタイプのトレード】



上記の図で見える部分が、スプレッドと呼ばれる「幅」になり、幅の間でのトレードは、トレーダー側の「負け」判定となります。

このスプレッドは、海外の運業者では、よく使われているトレード・タイプで、ハイリスクハイリターンのトレードと言えます。

初心者の多くが、**ペイアウト率の高さだけを見て**
「スプレッド」でエントリーしがちですが
勝率が低いことに気がつくことなくトレードしてしまいます。

もちろん、どのタイプでトレードするかは、個人の好みとなりますが、本CLUBではスプレッドでのトレードはしていません。

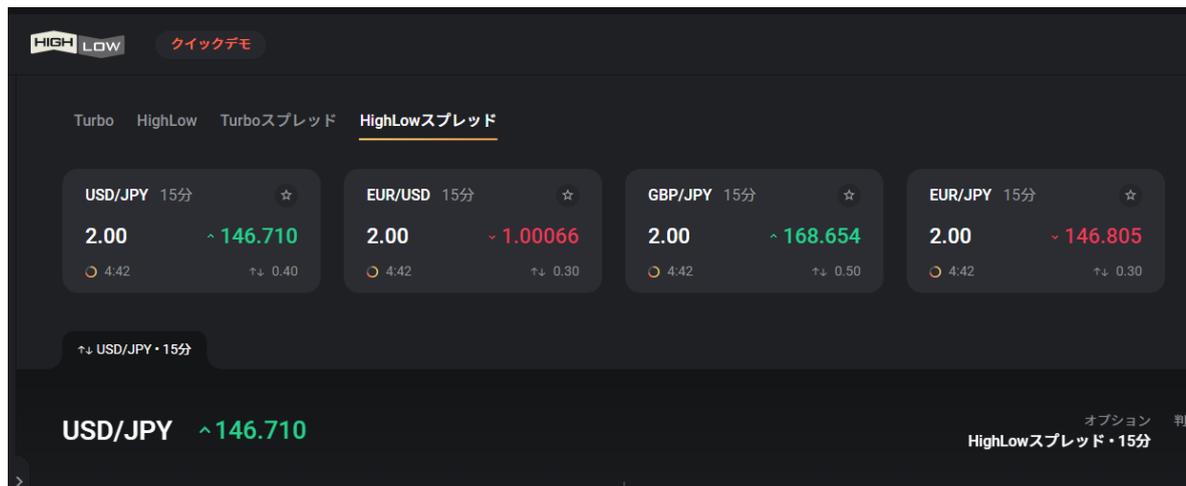
こちらも一度記載したのですが、その理由は、セオリーに即したトレードをすることが非常に困難だからです。

本CLUBでの目標は、あくまで安定的に月収100万の利益を確保することにあります。

ペイアウト率が良いからといって、手っ取り早く金儲けをしようというトレード・プログラムではありません。

トレードにおいて重要なのは、最終的にきちんと利益を出すことにあります。ギャンブルのような一か八かの勝負を楽しむものでは決してありませんので、そこはしっかりと意識しておきましょう。

2-4: タイプ④ High Low スプレッドの場合



High Low スプレッドは、基本的にはHigh Low と同じルールです。違いは「スプレッド」=「幅」だけになります。

・15分	1時間に4回／ ペイアウト率【2.00倍】
・1時間	1時間に1回／ ペイアウト率【2.00倍】
・1日(23時間)	1日に1回／ ペイアウト率【2.00倍】

High Lowに、「スプレッド」というルールが追加されたトレード方法で、トレーダー側がやや「不利な」条件下のもとで取引を行うかわりに、ペイアウト率が2倍と高く設定されています。

本CLUBでは行いません。

◆約定拒否

ハイロー(HighLow)でトレードをしていると、ごくたまに、
画面の右下に、黒帯に赤字で、

《約定が出来ません！》

と、表示されることがあります。



これは、そのときのトレードが成立しなかった状態になります。
あわてないでくださいね。何の問題もありませんからね。

では、この約定ができなかった状態とは何か、ご説明しますね。

・バイナリーオプションにおける約定拒否とは

投資には「約定」という言葉があります。

これはバイナリーオプションに限らず、株式投資やFXでもよく用いられる言葉で、トレード＝取引売買がきちんと成立したという意味です。

この「約定」は、バイナリーオプションの場合なら、自分がエントリーした注文が業者にきちんと受理されて、トレードが成立したことです。

そして、そのトレードが残念ながら成立しませんでしたという状態が、「約定拒否」となります。

バイナリーオプションやFXでのトレードでは、売買にかける時間がとても短いものもあります。

ハイロー(HighLow)でも「30秒」という、とても短い時間のトレードがあります。

せっかく、これは良いエントリー・タイミングだと思っても、相場は忙しく動き続けているわけですから、「30秒」とかの短時間トレードなら、考えている時間はありませんよね？

その時間通り「30秒」の間に売買が成立するわけですから、ちょっと迷っている間に、その時のトレードは終了してしまいます。

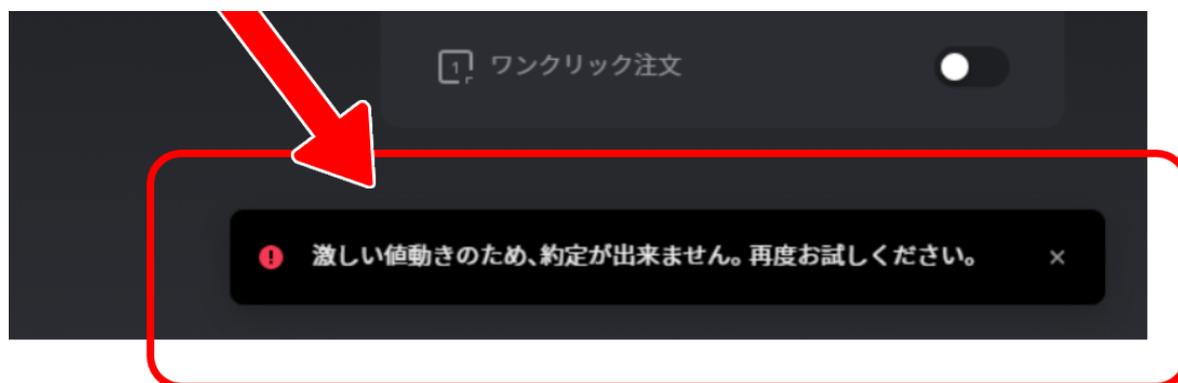
バイナリーオプションは「High」か「Low」の2択です。

エントリーした時点での為替レートから、次の為替レートが、「上がった」か「下がった」かによってトレードが終了します。

自分では、よいタイミングで決めて「今すぐ購入」したつもりでも、その時点で、すでに次の為替レートの価格が決まっていたら、すでに「上がった」か「下がった」かの結果が出ているわけですから、トレードになっていませんよね。

そんなときに、最初に記載しました、

《《約定が出来ません！》》



この表示が出てきます。

また、どれだけネットやシステム処理の速度が上がったといっても、自分が「今すぐ購入」ボタンをクリックした時点と、それを処理して約定するわずかなタイムラグは出てしまいます。

たまたまそのとき注文が膨大な数で集中してしまったら、システムの処理能力を超えてしまうので、約定までの時間がずれてしまい為替レートが動き、約定拒否となることもあります。

これはただ単に、もう一度、次回のトレードをしてください、ということです。何かルール違反などを行っているわけではありません。言ってしまうと、自分がエントリーしたかったときに起こった時間のズレであり、そのときのタイミングの時間切れのようなものです。

バイナリーオプションでの「30秒」や「1分」といったトレードをしていけば、基本的には、1日に何度でもトレードできるわけですから、1回ぐらい「約定」できなくても何の問題もありません。

本CLUBで行うハイロー(HighLow)のトレードの時間は、「1分」です。

トレードを長くしていれば、少なからず1度や2度ぐらいは、約定できないこともあります。

自分で良いエントリー・ポイントを見つけたので、
「High」もしくは「Low」を決めて、「今すぐ購入」をクリックしても ▶▶▶ ちょうど
レート更新のタイミングと重なったら、
《約定が出来ません！》と表示されます。
ほんの数秒のエントリーのズレでエントリーが受理されず、
そのときのトレードはできませんでした、ということです。

とにかく、この表示が出て何もあわてることはありませんよ。
その時、1回のトレードができなかっただけのことですから。
そのまま次のエントリー・チャンスを待てばよいだけです。

この表示は、デモトレードでも表示されます。
デモとはいえ、自分のお金をベットしていないだけで、
基本的なシステム動作は、実際のトレードと同じです。

まだハイロー(HighLow)のトレードに慣れていないときは、何度か表示される
かもしれません。いえ慣れても、拒否される時は拒否されます。ですが、本
当にごくたまに出てくる程度です。

とにかく何の問題もありませんよ。
トレードに慣れれば、基本的には、自分のエントリー・タイミングで
トレードができるようになりますよ。

・それでも約定拒否が起こるケース

つい先ほど、慣れれば基本的には自分のタイミングでできる、と記載しまし
たが、実はそれでも、ハイロー(HighLow)のトレードでは、
どうしても約定拒否が起こるケースがあります。

① エントリーがあまりにも集中し過ぎたとき

これは、もはや不可抗力の領域ですね。

どこまでいってもハイロー(HighLow)のサーバーには限界があります。今後ネット速度は「5G」になっていくので、こうしたシステム上の処理ももっと改善はされるでしょうが、しかしながら、どこまでいっても大元のサーバーの処理能力によって、左右されてしまいます。

登録者全員が同時刻にトレードをすることはないにしても、それでも、かなりの人数が集中することはありません。

そうするとサーバーに大きな負担がかかり、処理が間に合わず約定拒否になる原因の1つになります。

②経済指標発表の時間帯

アメリカの雇用統計や物価指数をはじめ様々な経済指標が発表される時間帯があるのですが、そうした時間も約定拒否が起こりやすいです。

これは、また後で「避けるべき時間帯」として、詳細に記載した項目がありますので、そこで確認してみてくださいね。

・約定拒否が起こっても冷静に続ける

約定拒否が表示されると、そのときのトレードは成立していませんので、エントリーそのものがなかったことになります。

これは、エントリーそのものが成立していないわけですから、何の損害も出ていません。

しかし、そのときのトレードを見ていると結果は自分がエントリーした通りで勝ちだった。そうすると、心によぎるのが、「ああ、さっきのは勝てたのにな、、、」という気持ちです。

負けたときのエントリーは「ああ、よかった」ですぐに忘れてしまいますが、利益が取れていたはずのものは、妙にいつまでも心に残ります。

それが、1度ぐらいならよいのですが、数日間の間、2度か3度ぐらい目にしていると、だんだんといらついてきます。

何も「損」をしていないはずなのに「損」をした気持ちになるのです。

人はこの「損」というものにとっても敏感です。心理学でも明確になっているぐらいです。このことに関しては、実践での項目「マインドセット」で、対処方法なども含め詳しくご説明しますね。

そして、何回か約定拒否を目にすると、何か業者に操作されているんじゃないのか？ という風な考えにすらなる人も中にはいます。利益を逃したとなると余計にです。

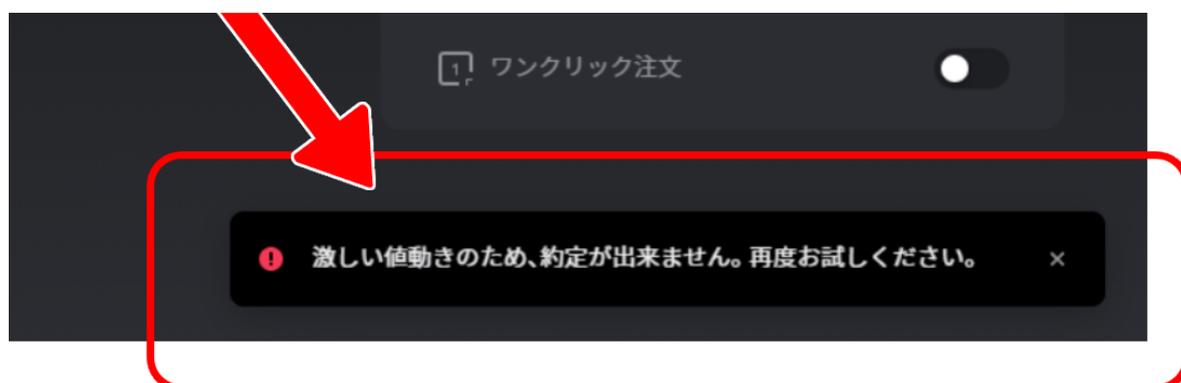
もちろん、業者による操作はありません。

そもそもがハイロー(HighLow)で表示されているデータは外部データによるものです。

これは業者による一切の不正なレート操作ができませんという透明性をアピールして、顧客との信頼を作っているともいえるでしょう。

そして、この外部データを引っ張ってくるため、レートを更新する必要があります。レートの更新は数秒～数十秒ほどで繰り返し行われています。

このレート更新のときに、ちょうどエントリーしてしまうと、



こちらの文字が表示される、というわけです。

さらに確実に透明性をアピールするために、ハイロー(HighLow)のサイト内には、毎回の判定レートを全て公開しています。

下記から「判定レート一覧」の確認が可能です。

<https://highlow.com/trade/expiry-rates>

さて、業者側のレート操作はあり得ないと知れば、後は、「損」をしていないのに「損」をしたような気持ちになっているこの奇妙な感情ですよね。

ここで決してやってはいけないのが、怒ったり、イラついたりすることです。頭に血をのぼらせた状態のままトレードを続けると、必ずセオリーを無視して、無茶なことをします。

それがトレードにおいては最もダメなことですよ。注意しましょうね。

・良きエントリー・タイミングはピンポイント

本CLUBのトレードは、ハイロー(HighLow)のサイト内画面だけではなく、「MT4」のチャート画面を見ながら行います。

ここから先、具体的にどのようにチャート画面を見て分析し、最適なタイミングにてエントリーするかを知ってもらうわけですが、ある意味、そのタイミングはピンポイントになります。

場合によっては、レート更新のわずか手前でのエントリーのタイミングもあるでしょう。

ハイロー(HighLow)のレート更新の瞬間を、こちらが知ることはできません。システム上での更新で、全てはそのときの処理タイミングなので知りようがないのです。

ですが、そのピンポイントでのエントリーこそ最適な瞬間なのです。

だから 《約定が出来ません》 と、少くも出てきても、
また、例えそのときは勝ちの結果であったとしても、
冷静なままにしていることが大切です。

ギリギリだと約定できないかも、などと考えて、セオリーからはずれた
トレードをしても、利益確保には結局つながりません。

ピンポイントによる最高の見極めだからこそ勝率も高くなるのです。

・チャンスは何度でも訪れる

すでに記載しておりますが、とにかく約定拒否は何の問題もありません。少
しタイミングがずれた程度のことです。
何もそこでトレードが終了してしまうことでも何でもありません。

チャンスは何度でも訪れます。

まあ、そんなことも、たまにはあるか、、、という程度の気持ちで、
さらりとそこはスルーしちゃいましょう。

それに、先ほどの、
エントリー・タイミングはピンポイントとお伝えしましたが、
これは別に、何か凄いテクニックを駆使して、
とてつもない速さでエントリーする、、、
というわけではありませんので、安心して下さいね。

60秒コンプリートサインPLUS+のポイントの見極めがあくまで重要なので
あって、個人の特別なテクニックとはまるで無関係です。

最も大切なのは「トレードノウハウ」にそって、絶えず冷静にトレードを、
淡々と続けることです。

そして、本CLUBでの各項目を、順番に丁寧に確認し、確実にノウハウ通り
にしていけば、何も難しいことはありません。

慣れてしまえば、すぐに可能になります。

冷静さを欠くことなく、ノウハウ通りにトレードをしましょう。

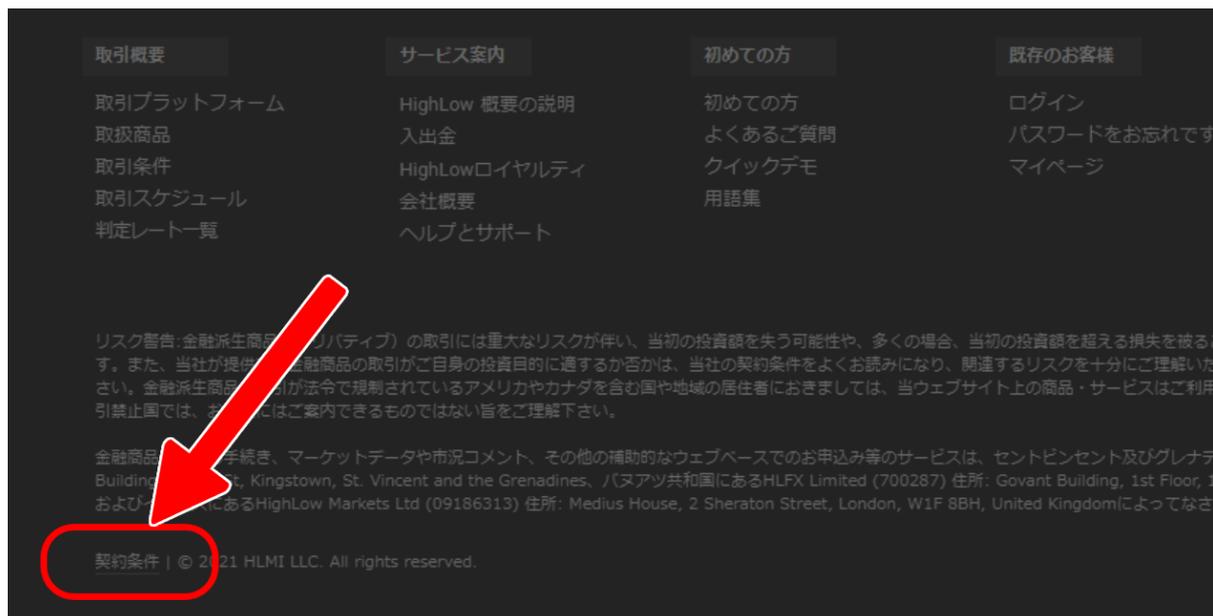
いかに冷静に淡々とトレードをすることができるようになるのかは、「マインドセット」で詳しくお伝えします。

もしそれでも不安な方は、デモトレードもありますので、そちらを使い倒して慣れちゃいましょう。

◆ ハイロー禁止行為と口座凍結について

ここでルールの中でも厳しいお話をしておきましょう。禁止行為です。

全ての禁止行為を確認するのは、まず、ハイロー(HighLow)のTopページを一番下まで下げて、底辺にある小さな文字「契約条件」をクリックしてください。



下記の専用ページが開きますので、PDFをダウンロードしてください。



「口座利用条件」というPDFから確認できます。



(2020年9月時点の情報／※運営業者により新しくなることがあります)

まずは禁止行為に関して、運営業者であるハイローが明確に記載している文章を、ここに記載します。

禁止行為

14.1

発行者がその単独裁量権により、ある取引口座が禁止行為に関係していると決定した場合には、お客様は、発行者がその口座およびその他の関連した口座(発行者のみが決定)を制限し、および／または解約し、全てのオープンポジションの決済および適用される料金及び手数料控除後の口座価額を払い込むことを容認するものとします。

発行者はその権利の制約を受けることなく、資金残高もしくはかかる禁止行為から直接に得られた利益または禁止行為に関連して得られた利益の取引による利益を没収することもできます。

(口座利用条件より一部抜粋)

上記からの文章からも確認できるように、「禁止行為に関係していると決定した場合」と記載されています。これは運営業者側に禁止行為を決める権限があるということです。

とにかく手軽にできるトレードなので、「連続購入・連打」をはじめ、様々な手法を用いて何とか儲けを出そうとするギャンブラーが後をたちません。

こうした禁止行為を定め、違反した場合には口座を凍結することは、ハイロー(HighLow)だけでなく、FX業者やバイナリーオプション業者なら、ほぼどこでも行っていることです。

完全凍結とまではいかないにしても、禁止行為をしたために、一時的にトレードに制限がかかる限定凍結の話はよく聞きます。

最終的に口座を凍結するかどうかは、運営業者側であるハイロー(HighLow)にあるので、こうすれば凍結されない、という明確な方法はありません。

ですが、禁止行為と疑われないトレードを健全にすれば、何の問題もないのです。口座契約条件に反することのないように、きちんと一通り確認しておきましょう。

もちろん、いたって普通にトレードをしている場合に、口座凍結のようなことは起こりませんので安心してください。

注意するのは、ネットなどに転がっている情報や、これなら100%勝てるといった手法を用いてみたら、それが禁止行為に抵触していた、といったケースです。

安易にそうした手法を用いてトレードをすることは、絶対にやめましょう。

禁止行為

詳細はPDFを確認してください。

ここでは、特に注意しておいておいた方がよい、明確に記載されている禁止行為部分を抜粋したものを掲載します。

- (a) 第三者からの金融の助言、推奨、声明もしくは解説に主に基づいてポジションを取ったり閉じたりすること。その第三者が免許を有しているか、そのようなことをする許可を持っているか否かには関係しない
- (b) インサイダー取引
- (c) 口座なりすまし
- (d) お客様に関する、もしくは第三者の現在位置に関する疑惑を隠し、または生み出し、または私たちが欺く企ておよび実例
- (e) お客様に関する、もしくは第三者のデバイスの位置に関する疑惑を隠し、または生み出し、または私たちが欺く企ておよび実例
- (f) お客様の納税住所に関する疑惑を隠し、または疑惑を生み出し、または私たちが欺く企ておよび実例
- (g) 仮想専用サーバー(VPS)もしくは仮想マシン(VM)から取引すること
- (h) 仮想プライベート・ネットワーク経由で取引をおこなうこと
- (i) 口座保有者以外の誰かもしくは何かが口座で取引を行うこと。彼らが法人であるか否かを問わない
- (j) TOR ブラウザもしくは類似のサービスを使う
- (k) 私たちの IT インフラストラクチャーを攻撃しようとする、もしくは私たちのサーバーの動きを遅くしようとする

- (l) 裁定取引、価格待ち時間またはシステム・オーバーロードを使った取引を企てる
- (m) 単独の IP アドレスから複数の口座で取引すること
- (n) 一つのデバイスから複数の口座で取引すること
- (o) 発行者がリスクを効果的に管理する能力、または金融サービス義務を遵守する能力に悪影響を及ぼす可能性のある手段、戦略、計画、デバイスの使用
- (p) スキャルピングのような異常な売買もしくは取引量の急激かつ重大な変化と発行者が考える事態に関係する取引パターン
- (q) オプション取引が違法である法域における取引。

(口座利用条件P6~7より一部抜粋)

この禁止行為の文面の前には、「禁止行為とは、以下の事項を含みますが、これらに限定されるものではありません」とも明記されています。

そこで、最初に紹介した文面が活用されます。運営業者側がそれは禁止行為だと判断したら、禁止なのです。とにかく、これなら勝てるからといって、おかしい手法は用いないことが大切です。

では、明確に記載されている禁止行為をもとに、さらに詳しく、口座凍結に関してご説明していきます。

口座凍結とは

ハイロー(HighLow)で口座凍結するとは、限定的に制限がかかりトレードができなくなることや、完全に入出金が停止となりトレードができなくなるということを指しています。

口座凍結には、
「限定凍結」と「完全凍結」の2種類があります。

【限定凍結】を受けた場合：

- ・同じ通貨で持てるポジションが「1つ」までになる。
- ・1ポジションの上限金額が「5,000円」になる。

これは入金・出金には制限がかかりませんので、上記の条件ならば、
なんとかトレードは続けられる状態です。

【完全凍結】を受けた場合：

- ・全てのトレードが停止する
- ・入金・出金の手続きが停止する

サイトへのログイン以外、口座の利用が完全にできなくなります。

完全に口座が凍結するのは、
もちろんかなりの禁止行為をした場合になります。

が、しかし、どの行為をすると「限定」で、
また「完全」凍結になるのか、ということではなく、
基本的にはどちらであろうと禁止行為はいけません。

さらに、上記に抜粋したPDFに記載されている禁止行為と、
記載はされていないが、行くと禁止とみなされる危険性のある
事柄を含めて、リスクある行為を記載しておきます。

凍結するであろう行為

・マーチンゲール・

ギャンブルをする人間が必ずしてしまう最も愚かな手法です。これは、勝負に負けた時に、次のトレードで倍の金額でエントリーをする方法です。

例えば、1回目の掛金が1,000円で負けたら次は2,000円、さらに負けたら次は4,000円というように掛金を上げていきます。この手法は、最終的に勝てれば今までの負けを取り返すことができますが、負けた時の損失が非常に大きくなってしまいます。当たり前ですが、回数を重ねるごとに必要な掛金が大きくなるので口座残高がすぐに限界にもなりやすいです。

1回行ったくらいで凍結の対象にはなりません、連続でマーチンゲールを使っているとリスクがだんだんと高くなります。マーチンゲール手法を採用している「自動売買ソフト」が多いため、使用を疑われる原因にもなるためです。

凍結のリスクももちろんですが、とにかく本CLUBでは、マーチンゲールは典型的なギャンブル手法なので、いっさいオススメしておりません。**絶対に止めておきましょう。**

・連打法での取引・

バイナリーオプションのトレードをするのに、ネットでは良くも悪くもあちこちで紹介されている手法の1つです。

これは、変動幅が高い相場の際に「何度もエントリーを連打」で行うことです。この方法は凍結のリスクはもちろんですが、莫大な損失にもつながりかねません。止めておきましょう。

・自動売買・架空取引・

何度も自動的にエントリーを繰り返す自動売買ツールの使用や、高速エントリーツールなどの使用も禁止されています。

別のハイロー(HighLow)の口座で逆のエントリーをしておいて、両建てをすることも凍結の原因となります。

・ブラックボックス・

これは前述の自動売買とほとんど同じです。本人がトレードをするのではなく、システムが代わりにエントリーをすることを意味します。

・スキャルピング・

これは、秒～分単位の短い時間のうちに何度もトレードを繰り返すことです。FXの海外業者では禁止としない業者もありますが、ハイロー(HighLow)では禁止行為になります。

またPDFには、「スキャルピングのような異常な売買、、、」と明記されていますので、類似する行為は全てダメです。

・連続購入や連打・

大きな金額で高速購入や連打をすると、自動売買ツールの使用だと疑われる可能性があります。

・入金をしたのにトレードをしない・

入金をしたのになかなかトレードをしないとリスクがあります。これはカードの利用額を現金化しようとしているのではないかと疑いをもたれてしまうからで乱用と呼ばれています。

・両建てエントリー・

同じ通貨ペアで、ハイにもローにもエントリーすることを「両建て」と言います。ペイアウト率が高いトレードだと利益が出ますので、この行為におよぶギャンブラーがいますが、禁止行為です。

・居住国以外のIPアドレスからの取引・

IPアドレスを分散し、日本に住んでいるのに日本以外のIPアドレスを取得して使うのも禁止しています。

また海外のIPアドレスからトレードをするとシステムエラーが出ることもあります。悪質な行為をしていなくても凍結されることもあります。

《完全凍結されるリスクの高い行為》

・トレード以上の大きな金額の出金・

トレード額に反して異常に大きな金額の入出金があると、マネーロンダリングを疑われる原因になります。毎日のように、余りにも頻繁に出金を行う行為も疑われやすいと言われています。

マネーロンダリングまでの疑いを持たれるとなると、禁止行為以上に、もはや犯罪行為とすら認識されますので、異常に大きな金額の出し入れは止めておきましょう。

・市場操作・

これは相場操縦的行為のことです。大きな金額でエントリーをして取り消しをしたり、価格を固定させるような注文などを繰り返していると、市場操作を怪しまれ凍結される可能性が出てきます。

・インサイダー取引・

内部事情を詳しくわかっている人が自分に有利な状態でトレードを行うことをインサイダー取引と言います。

ハイロー(HighLow)でもインサイダーが疑われるような怪しい動きがあった時は、もちろん凍結の対象となります。

市場操作やインサイダー取引に関しても、マネーロンダリング同様、もはやれっきとした犯罪行為に属します。余りにもそれは異常極まりない行為です。絶対にしてはいけません。

稼ぎ過ぎると凍結される？

一度も出金せず、大きく利益を延々と稼ぎ続けていると凍結されます。

これは禁止行為として明記されているわけではありません。

大体の目安ではあるのですが、出金もなく、「1千万円」以上ほど稼いでしまうと凍結します。あくまで限定凍結ではあるのですが(つまり出金に問題は無い、ということです)、トレードに影響がでることは間違いありません。

いずれにしても、それ以上続けてトレードをすることは困難になりますので、ハイロー(HighLow)でのトレードを止めて、他に移ることになります。

こうした背景も1つの理由として、本CLUBでは、総額金額「200万円」を目標にして「出金」いたします。何も、欲張って一気に稼ぐ必要はありませんよ。「月収100万円」でも利益は充分すぎるほどあるのですから、きっちり利益をあげながら、そして、なおかつ長くトレードを楽しむことを心がけましょう。

◆バイナリーオプションのリスク

バイナリーオプションは、気軽に始められるとは言え、大損してしまう人も中にはいます。

ここでは、損をしてしまう人の特徴を通して、そうなってしまっはリスクがある、ということをしちんと知っておいてください。

バイナリーオプションで損をしてまう人の特徴

バイナリーオプションで損をしてしまう人には、共通して以下のような特徴が見られます。

【トレードで損をする人の特徴】

- 理論も知識も、何もない
- 自分の中でのルールが決められていない
- 感情的でコントロールが効かない
- リスク管理ができない
- 資金運用も管理も考えていない
- 借金をしてでもトレードしようとする！

そして、
負ける→借金→負ける→借金・・・のループにハマっていることを
無視できる。それでも異常に執着し続ける。

ギャンブルとは違うというお話は、すでに何度も出てきていますが、
ここだけは何度でもお伝えします。そして、この先も、何度もお伝えします。

とにかくバイナリーオプションは、比較的ルールが簡単で始めやすいのが特徴です。ですから油断すると、すぐギャンブルとなります。

バイナリーオプションは、あくまで投資なので、他の投資と同じく、きちんと理論と知識を習得しなければなりません。デモトレードでの慣れも必要です。

セオリーもなく、素人でも簡単に勝てるというような考えは持たずに、闇雲なトレードをしないように気をつけましょう。

バイナリーオプションの業者にはデモ取引ができたり、100円や1,000円といった、少額の最低取引額が設定されていたりする業者もあります。

本CLUBで使用する業者「ハイロー(HighLow)」にも、デモトレードがあります。

勘に頼って運だけで投資するのではなく、デモトレードを上手に使い、必ず基礎を固めましょう。

何よりもしてはいけないのが、軍資金が底をついて、消費者金融などに手を出してしまうパターンです。負けた分を取り戻さなければという思いから、借金してまで投資金を調達してしまうことです。

こういう場合は、すでに生活費にまで手を付けていると考えてよいでしょう。そして、借りたお金でトレードして、「また負ける、また借りる」を繰り返していくようになってしまいます。

ここで必ずといって使う手法が、先ほどの、「マーチンゲールの法則」です。

次で取り返せば問題ない、、、次で勝てばよい、、、と。

このような負のループから抜け出すことは、ほぼ不可能です。バイナリーオプションのために借金するなんてことは絶対にやめましょう。

投資においては、感情にまかせることなく、常に、正しい判断ができる精神状態で臨むことも求められます。

だから私は本CLUBでしっかりとしたノウハウをお伝えしているのです。

「コンプリートサイン」×「マインドセット」×「資金運用・管理」

技術的理論だけでトレードしてはダメなのは、こうしたことからです。

人は感情に、そして「欲」に流されます。
だから「マインドセット」が重要なのです。

お金の流れに無頓着な人はお金を慎重に扱いません。
だから「資金運用・管理」が重要なのです。

全てが重要なことなので、順番に1つずつ知ってください。
順序通り、全ての項目を確認し、そしてきちんと理解した上で、
勝てる、つまり、利益を得られるトレードを行いましょう。

◆さいごに

以上、バイナリーオプションは再現性の高い投資であり、高い勝率を維持することで時間の経過とともに必然的に利益を出し続けられる、ということをお伝えしました。

あなたがこれからトレードを行い、利益を積み重ねていくためにも、基本を知っておくことに大きな意味があります。

どのように利益を増やし、どのように資産が増えるか理解することでバイナリーオプションを楽しむことが出来るからです。

本CLUBのセオリーを覚えることに加えて、バイナリーオプションの知識を身につけたあなたは、よりスムーズな状態でトレードを行うことができます。

あとは、しっかりとやらなければならないことを、当たり前のようにやり続けるだけです。

松岡ゆず